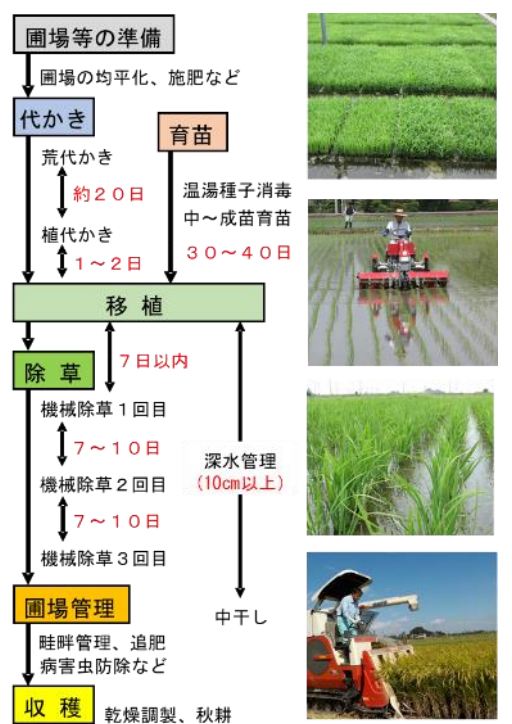


高能率水田用除草機を活用した水稲有機栽培体系 耕種的防除と機械除草を組合せ

水稲の有機栽培では化学合成農薬や化学肥料を使用しないことなどから、慣行栽培に比べて労力がかかり収量が不安定であり、特に雑草防除が問題となっています。そこで、農研機構とみのる産業(株)などで共同開発した高能率水田用除草機を活用した雑草対策をはじめ、圃場選びや育苗から収穫後の圃場管理に至るまでの最新の有機栽培体系を組み立てました。

☆ 技術の概要

1. 高能率水田用除草機は、乗用型の除草専用機で、車体の中央に除草部があることから、オペレーターが除草部や稲株を目視で確認しながら作業することができます。除草の仕組みは、回転式のロータ(条間)と揺動式のツース(株間)の組み合わせ方式です。除草に必要な時間は10アール当たり30分程度なので、省力的な除草作業が可能です。
2. 除草作業は、田植えから7日以内に1回目、その後7~10日間隔で合計3回行います。除草効果を安定させるためには、除草機だけに頼らず深水管理など耕種的な防除法を組み合わせるとともに、適期に除草作業を行うことが重要です。
3. 有機米の収量及び品質向上のためには、地域の気象条件や圃場の土壌条件等を考慮し、これに適した品種や作型、肥培管理及び病害虫対策などを事前に検討し、実践することも必要です。
4. 上記をとりまとめた「高能率水田用除草機を活用した水稲有機栽培の手引き」には、本体系の技術的ポイント、経済性の評価結果や導入事例を掲載するとともに、これまで実施した研修会などで質問が多かった事項についてQ&Aで分かりやすく解説しています。



高能率水田用除草機を活用した水稲有機栽培体系

☆ 活用面での留意点

1. 「高能率水田用除草機を活用した水稲有機栽培の手引き」は、下記 URL からダウンロードできます。
https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/134805.html
2. 水稲の有機栽培技術について、さらに詳しく知りたい場合は、「機械除草技術を中心とした水稲有機栽培技術マニュアル」をWeb上で公開していますので参考にしてください。
<https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/Organic-Pro/>

(農研機構 中央農業研究センター 生産体系研究領域 三浦重典)